

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7(2025)年度第2回みよし市行政改革推進委員会		
開催日時	令和7(2025)年10月27日(月)午後2時～午後2時35分		
開催場所	市役所6階 601・602会議室		
出席者	<p>(委員) 石崎正樹、岡田一範、岡本智則、加藤哲司、酒井喜市、鈴木知子、野々山清、増岡和明、村上雅則、村松幸廣 ※50音順、敬称略</p> <p>(みよし市) 村田副市長、増岡教育長、海堀経営企画部長、岡田経営企画部参事、城総務部長、木戸福祉部長、加藤こども未来部長、原田市民経済部長、成田都市建設部長、冨田教育部長、竹山教育部参事、深谷病院事務局長</p> <p>(事務局) 近藤経営企画部次長兼企画政策課長、福上副主幹、河村主査</p>		
次回開催予定日	令和8(2026)年 時期未定		
問合せ先	<p>経営企画部企画政策課 担当 福上・河村</p> <p>電話番号 0561-32-8005</p> <p>ファックス番号 0561-76-5021</p> <p>メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<p>・議事録全文</p> <p>・議事録要約</p>	要約した理由	
次第	【議題】第8次みよし市行政改革大綱の素案について		
典 礼 近藤経営企画部次長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>定刻になりましたので始めたいと思います。</p> <p>まず礼の交換を行いたいと思います。</p> <p>一同ご起立をお願いいたします。</p> <p>一同礼。</p> <p>ただいまから、令和7年度第2回行政改革推進委員会を開催いたします。</p> <p>初めに村松会長からご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>		
村松会長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>高市内閣が発足しまして、女性で初めての宰相としてですね、今の政治を議論されるということで、ご挨拶したときに、高市さんは流暢な英語でご挨拶をいたしました。</p> <p>首長は英語で挨拶するのは当然だと私は思っていますけども、明るい未来になるか、それとも経済が景気浮揚になってですね、また高市効果ということで今日も日経平均が5万円を超えたということで、喜ばしいかどうかわかりませんが、景気が良くなる兆候ではないかなというふうに思っています。</p> <p>ただ円安も進んでいるということで、物価高もちょっと危惧されるということであります。</p> <p>行政改革を考えますと歳入歳出ということでもありますけど、いつも言いますけ</p>		

	<p>どもコストカット等ではございません。我々はコストカッターではございません。より市民目線でもって、市民の生活・安心安全を守りですね、生活水準をできるだけ維持していこうということで、私どもも提言をさせていただいているわけですから、今日はちょっと木枯らしみたいのが増えてですね、いきなり涼しいと思ったら、ちょっと寒いような状況になりつつあります。</p> <p>お忙しい中、委員の方、先生方ご参集いただきまして、それからさらに事務の方々、副市長さんはじめですね、部長さん次長さん、ご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>皆様方には忌憚のないご意見をいただいて、より良いみよしの行政に向かって、やっていきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いいたします。</p>
<p>典 礼 近藤経営企画部次長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>設置条例第6条に基づき、委員会の議事は会長にお願いすることになっておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>村松会長</p>	<p>それでは、ご指名によりまして、会議次第によって議事を進行していきたいと思っております。</p> <p>スムーズな議事進行をお願いしたいということで、委員の皆様方、ご協力をお願いいたします。</p> <p>初めに議題の（１）ですけれども、第8次みよし市行政改革大綱の素案について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局の企画政策課の福上と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>それでは本日の議題、第8次みよし市行政改革大綱の素案について説明をさせていただきます。</p> <p>この度第8次みよし市行政改革大綱の素案ができましたので、皆様にご意見をいただこうと思っております。</p> <p>資料につきましては、右上に資料と書かれている大綱の内容をA3、1枚に集約した、「第8次みよし市行政改革大綱の素案について」をメインで使用させていただきます。</p> <p>また別途資料として、大綱の素案そのものを本編として配付させていただいておりますので、あわせてご参照いただけますと幸いです。</p> <p>それではA3の右上に資料と書かれたものをご覧ください。</p> <p>そちらの左上、1つ目、「第8次みよし市行政改革大綱の構成について」説明をいたします。</p> <p>こちらの第8次みよし市行政改革大綱ですが、第1章から第3章までで構成をされております。</p> <p>第1章では策定の背景、第2章は行政改革の基本方針、第3章は推進体制と進管理となっております。</p> <p>構成自体には第七次大綱から大きな変更はございませんが、掲載する箇所やデザインなどは、修正変更をさせていただいております。</p> <p>次に、資料の左側2番目、第1章策定の背景をご覧ください。</p> <p>この章では、行政改革大綱を策定するに至った背景について説明をさせていただきます。</p> <p>（１）、これまでの行政改革では、市民に最も身近な基礎自治体として、社会経済情勢の変化や、多様化する市民ニーズに対応するために、継続的に行政改革大綱の、見直しを行い、全庁挙げて積極的に改革に取り組んできたことについて触れさせていただき、右の表の通り、昭和60年に策定した、三好町行政改革大綱初め、歴代の大綱策定の状況について紹介をしております。</p> <p>（２）の第7次みよし市行政改革の成果においては、第7次大綱の計画期間であった令和3年度から令和7年度までの実績について説明をさせていただいてお</p>

ります。

毎年第1回の本部会議、行政改革推進委員会でもお知らせをさせていただいておりますが、第7次アクションプランの取組みによる各年度の行政改革の効果額については、ご覧いただいております下の表の通りとなっております、その合計額、今は令和6年度末までしか出ておりませんが、令和3年度から令和6年度末までの時点で、2億6,431万7,000円となっております。

(3)のさらなる改革の必要性では、本市の主な財源の1つである法人市民税が世界情勢や為替変動等の影響を受けるなど、歳入の確保が一層厳しい状況の中、高齢化の進展等の影響による扶助費や社会保障費などの義務的経費の増加が見込まれることについて言及しております。

また、将来を見通した持続可能な行財政運営を行うため、様々な手法による自主的な行政改革に取り組む必要性についても言及しております。

大綱にも記載しておりますが、市税収入の推移及び扶助費と社会保障費の合計額の推移、こちらを記載しております。

ご覧の通り、市税収入につきましては、年度によって収入が落ち込むことがあります、扶助費と社会保障費については緩やかに増加していることがわかります。

資料の右のページをご覧ください。

3番、第2章、行政改革の基本方針について説明をいたします。

(1)、計画期間について、第8次みよし市行政改革大綱は令和8年度から令和12年度までの5年間といたします。

(2)、基本方針について、こちらはあらゆる環境変化に対応できる持続可能な行財政基盤を確立するため、社会情勢の変化に即した質の高い行政サービスを提供するとともに、市が目指す将来像の実現に向けて、行政改革を進めるとしております。

(3)、改革の視点としましては、第1回みよし市行政改革推進委員会でも説明させていただきました通り、持続可能な行財政運営としております。

大綱本編にも記載しておりますが、行政改革の根幹は、安定した行財政運営であり、社会情勢の変化による影響にしっかりと適応し、継続して持続可能な行財政運営が求められます。

右に記載をしました4つの視点、1つ目、さらなる事務事業の効率化、2つ目、安定した財政基盤の構築の継続推進、3つ目、積極的な多様な主体との連携、4つめ、職員の能力をさらに発揮できる組織づくりをもって、社会情勢の変化に対するアップデートを行い、事業の効率化や、事務事業の見直しを実施するとともに、効果的、効率的に持続可能な行財政運営を推進するものとします。

なお、社会情勢の変化に対するアップデートというものは、すべての取組みを刷新するものではなく、これまで行ってきた取組みにつきましても、その取組方法などを精査し、改善を行って、継続して取り組むことも含まれます。

(4)、重点項目について説明をいたします。

こちら第1回みよし市行政改革推進委員会でお示しさせていただきました内容であり、大綱本編にも記載をさせていただいております。

先ほど申し上げました4つの視点に基づき、4つの重点項目を挙げております。

1つ目は、デジタルを活用した便利で効率的な行政運営とし、将来的な人口減少社会を見据え、デジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化、行政サービスの向上を目指し、また、継続的な事務事業の見直し・改善により、社会情勢の変化への迅速な対応を目指します。

推進項目として、デジタル技術を活用した行政サービスの向上、事務事業の見直しと改善の2点を挙げております。

2つ目は、将来を見据えた財政基盤の構築です。

安定的な財政確保や、歳出の見直しを実施し、持続可能な財政基盤の確立を進めます。

また市有財産の適正な管理や経営戦略に基づき、公営企業や特別会計の経営の健全化を目指します。

	<p>推進項目として、自主財源の確保、補助金等の見直しと受益者負担の適正化、市有財産の適正な管理運営、公営企業と特別会計の健全な運営の4点を挙げております。</p> <p>3つ目は、多様な人や組織との連携の推進です。</p> <p>市民やNPO団体といった様々な主体との連携により、地域課題の解決を図るとともに、大学との連携や民間活力の活用により、質の高い行政サービスの提供を目指します。</p> <p>推進項目として、市民との協働の推進、企業・大学・関係市町との連携の推進、民間活力の導入・活用の3点を挙げております。</p> <p>4つめとして、機能的な組織づくりと人材の強化です。</p> <p>行政課題や市民ニーズに的確に対応できるよう、弾力的で機能的な行政組織の構築を図ります。</p> <p>また、持続可能な行財政運営に不可欠な優れた人材の確保や、職員の意識醸成を初めとした人材育成の強化を図るとともに、職員のウェルビーイングを実現することで、生産性の高い組織を目指します。</p> <p>推進項目として、機能的な行政組織の構築、人事配置、組織力向上に繋がる人材の確保と育成、多様で弾力的な働き方の推進の3点を挙げております。</p> <p>以上が第8次みよし市行政改革大綱における重点項目及び推進項目として記載したことになります。</p> <p>なお、こちらの重点項目及び推進項目に基づき、具体的な取組内容については、今後策定する第8次みよし市行政改革アクションプランの中で、以前に委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて定めて参ります。</p> <p>最後に4番目、第3章推進体制と進行管理について説明をいたします。</p> <p>大綱の中では、(1) 推進体制と、(2) 進行管理について記載をさせていただいております。</p> <p>(1) の推進体制では、副市長を本部長とし、みよし市の各部局の部長を本部長として構成する、「みよし市行政改革推進本部」を中心に全庁的な体制で取り組むとともに、市の附属機関にありますみよし市行政改革推進委員会に報告をし、意見を聞きながら推進することとしております。</p> <p>(2) 進行管理では、第8次みよし市行政改革大綱に基づいた具体的な取組内容や成果指標などを定めた、みよし市行政改革アクションプランを策定し、右の図の通り、PDCAサイクルにより推進していくものとします。</p> <p>なお、行政改革アクションプランにつきましては、この後の連絡事項でも触れさせていただきますが、令和8年度の策定になりますので、申し添えます。</p> <p>事務局からの説明は以上となりますありがとうございました。</p>
村松会長	<p>わかりやすい形でもって資料を作っていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>それではこの内容につきまして、委員の先生方、何かご意見等ございますでしょうか。</p>
野々山委員	<p>ちょっと細かい話になりますけども、この資料の右側の第2章行政改革の基本方針の(3) 改革の視点という中で、③の「積極的な多様な主体との連携」があるんですけども、これは説明ですと(4) の重点項目とリンクしているということだったんですが、重点項目の3の多様な人や組織との連携を推進という中で、推進項目として民間活力の導入活用ということになっていますが、改革の視点においては、「民間活力の導入活用を目指す」ということになっていて、何かこれが目的のような感じに受け取れるんですけども、いかがなものでしょうか。私の考えでは1つの手段に過ぎないのかなというふうに思うんですけども、いかがでしょうかということです。</p>
経営企画部長	<p>経営企画部長の海堀です。よろしくお願いします。</p> <p>今委員ご指摘の通り民間活力のノウハウだとか、資金を導入して物事を進めて</p>

	<p>いくつていうのは、確におっしやる通り手段に過ぎないのかなということを感じます。この言い回しについて、ノウハウや資金を投入して、こういったものを目指していくかというところまで考えたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。 その他何かございますか。</p>
村上委員	<p>いくつか質問させていただきますが、先ほどのA3ではなくてA4綴じた資料の中の2ページ、第7次の行政改革取組項目を振り返って項目と実績が並べてあるんですけども、例えば行政評価システム推進という項目に対して効果額がいきなり出ているんですけど、何をやってこの効果が出たのか効果の算定方法、ちょっとわかりにくくてですね、確かに大綱ですので、細かく書く必要ないかもしれませんが、読む人は理解できないと思うんですね。</p> <p>同様に、例えばふるさと納税の活用という中で、効果額1億8千200万円ありますと書いてあっても、いつと比較したのか、何を拡充したのか、ここから読み取ることができないんですね。</p> <p>読む人は欲求不満になると思いますので、その辺全般をちょっと見なおしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>事務局の福上です。ご指摘ありがとうございました。</p> <p>確かに読み取の方がちょっと分かりづらいのかなというふうに思いますので、このあたりは見直させていただきます。</p>
村松会長	<p>そうですね少し具体的に表現をお願いします。</p> <p>その他ございますでしょうか。</p> <p>それではご指摘の点につきまして、若干の修正を加えながら、わかりやすく表現するということにさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>大筋原案の通りということで理解してよろしいでしょうか。</p> <p>当初の予定ですと本日の行政改革大綱の最終案について、第3回の行政改革推進委員会で決定するということになります。</p> <p>表現の問題、或いはちょっとこう加えるということもございますけれども、大幅な修正ではありませんので、わたくし会長と事務局とで最終調整をさせていただいて、市長への答申にさせていただきたいというふうに思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>委員の方、先生方、お任せいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
村松会長	<p>ではそのようにさせていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、答申をさせていただくということでございますけど、時期につきましては2月頃を予定しております。</p> <p>続きまして、連絡事項として第8次みよし市行政改革アクションプランの取りまとめについて事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>企画政策課の河村と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>着座にてご説明させていただきます。</p> <p>連絡事項 「第8次みよし市行政改革アクションプランの取りまとめについて」説明いたします。</p>

	<p>資料最後の1枚ペラですね、第8次みよし市行政改革アクションプランの策定スケジュールについてという紙をご覧になっていただければと思います。</p> <p>本日の推進委員会終了後、大綱の推進項目に沿って各課に対して取組みの調査を実施して参ります。</p> <p>調査の内容としましては、まず第7次のアクションプランから引き続き取り組んでいく必要があるもの、次に、引き続き取り組む必要があるが、関連計画との整合や対象範囲の見直しなどの観点から、取組内容の見直しが必要なもの、そして3つ目、市民ニーズの高さや社会情勢の変化への適応などの観点から、今後新たにに取り組むべき必要があるもの、について幅広く報告を求めてまいります。</p> <p>報告いただいた取組項目については、事務局において、第8次みよし市行政改革アクションプランに位置付けをするか検討し、プランの体系案を作成することとなります。</p> <p>その後、取組担当課において第1回会議で皆様にご確認いただきました、アクションプラン取組項目個別シートの作成を行っていく流れとなります。</p> <p>次にこのスケジュールですけれども、取りまとめのスケジュールとしましては、10月から11月にかけて先述した取組みの洗い出しを目的とした事前調査を行い、各課の数回のヒアリング調査を実施した後、選別を経て、アクションプランの体系案を作成し、およそ2月から3月にかけてアクションプランの取組項目個別シートを作成する予定となっております。</p> <p>これに伴いまして、第8次みよし市行政改革アクションプランとしての策定期間は、先ほど福上からも説明がありましたとおり、令和8年度の行政改革推進委員会での審議を経た後となりますので、行政改革推進委員の皆様のうち推薦団体からの改選等でご退任される方につきましては、策定次第別途ご連絡させていただくこととなりますので、お願いいたします。</p> <p>その際、ぜひご確認いただければ幸いです。</p> <p>なお、アクションプランの作成にあたっては、前例踏襲せず、委員の皆様からのご意見を踏まえ、評価の判断基準等がわかりやすく可視化できるように改善を図って参りたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>以上でアクションプランの取りまとめについての説明を終わります。</p>
村松会長	<p>ただいま事務局から説明がありました。</p> <p>この内容につきまして委員の先生方、何かご意見等ございますでしょうか。</p>
岡本委員	<p>ご苦労様です。</p> <p>今回の第3回行政改革推進委員会は、1月19日に予定されていると思うのですが、その通りでしょうか。</p> <p>その時の議題としてはこのアクションプランとりまとめスケジュールからいくと事業担当課ごとにプランの体系案が出てくるので、それを確認するということでしょうか。</p>
事務局	<p>まず先ほどちょっと会長からもお話があったかと思いますが、今年度の、行政改革推進委員会としましては、行政改革大綱の策定にあたっての会議を全3回予定させていただいております。</p> <p>第2回の本日の委員会で大綱の素案が大体固まりまして、この後は大変申し訳ないですが会長と事務局の方でやりとりをさせていただいて策定、市への答申という形になります。</p> <p>よって、1月19日に予定させていただいております第3回の行政改革推進委員会につきましては、中止という感じで考えておりましたが、会長よろしいでしょうか。</p>
村松会長	<p>そうですね。2月に答申いたしますので、私と事務局にお任せしていただき、意見等を取りまとめて答申ということになります。</p>

	<p>今のこのスケジュールにつきましては、内部でいろんな作業を行っていくという意味でのスケジュールで、なおかつ、新たにまた行政委員会も、来年度行うということになりますね。</p> <p>今日ご意見がたくさんあってですね、ここのところを変えて欲しいとか、ということであれば大幅に変えなきゃならないということになりますと、もう1回会議をと思っておりましたけども、今日幸いご意見が表記とか若干の説明文の追加で済みましたので、1月19日については予定が消えるということになりますけども、皆様よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>答申をする際の大綱の資料については皆さまに送らせていただきます。</p>
村松会長	<p>また意見をお寄せいただいて、会長と事務局とでどういうふうに表現するかについて少しすり合わせて、答申案にしたいと思っております。</p> <p>他に何か要望等ございますか。</p>
石崎委員	<p>改めてご説明ありがとうございます。重点項目を改めて見させていただいて、1番目に来るのがきっと一番大事だろうということで、1番「デジタルの活用で便利で効率的な行政運営」と書かれているんですが、改めてこの内容を見てみますと、最近デジタルだとかDXだとか、いろんな言葉がある中で、表記上、何となくアナログなものを技術を使ってデジタル化して行政サービスを向上するんだよっていうふうなところに、あえて言うと留まっているように見えます。</p> <p>要はデジタルというのはステップがあって、デジタイゼーションっていうのがこの内容で、次のステップがデジタライゼーションということで、何を言っているかという、業務プロセスの全体の見直しです。</p> <p>最近よく言われているDXっていうのがそれをやって、その結果新たな価値を創造し、生産性を上げるだけじゃなくて価値を上げて創造していくというふうなステップだと思います。</p> <p>ここでは最初のステップ+αぐらい、事務業務の見直しと改善というところで、デジタライゼーションのやり切りまでは、あまり意識されてないとしたら、そこまで頑張ってみる、なのか、その先にあるDXにも取り組んでみる、なのか、今後推進項目を作っていくにあたっては、きつとご議論いただけると思うので、お願いしたいなというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p>
村松会長	<p>有意義なご意見をいただきましたけども、事務局として何かお考えがあれば。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>デジタルを導入して終わりという考えは当然ございませんし、やはりこのデジタルを使って、効果的効率的に事務を進めていくというのはまさにその通りだと思いますので、アクションプランの策定のときに、そういった考え方を持って取組項目を考えていきたいというふうに思っております。</p> <p>ありがとうございました。</p>
村松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>全体通して何かございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、事務局にお返ししたいと思います。</p>
村田副市長	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>色々な指摘いただきましたが、特にアウトソーシングしていいことといけないうちにある中でアウトソーシングを目的にしちゃいけないよということと、効果を可視化して、資料から読み取れるようにということ、それからDXが目的じゃないっていう部分と、その中で生まれてくる行政改革に繋がる部分を、また項目として考えていきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>職員も一同一生懸命アウトソーシングしていい所、いけない所を考えながら</p>

	<p>やっていきたいと思います。</p> <p>特にですね日経平均5万円とか、今日すごく威勢のいいことになっていたんですが、トランプ課税とかいろいろあって、実際には予算の査定やっていると物価高のことを目いっぱい感じます。</p> <p>その分減らさなくてはいけないというところもありますし、皆さんからいただいた気づきに対して行政もあぐらをかかずに、大企業というかも国骨格企業、経済の麓ですので、少し安微しているように見られるといけませんから、そういうことがないようにあぐらをかかずに一生懸命やっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>典 礼</p> <p>近藤経営企画部次長</p>	<p>会長の方からもお話がありました通り答申につきましては会長と今後調整を行いまして進めたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>これに伴いまして、先ほども申し上げました通り第3回の行政改革推進委員会の開催はございませんのでよろしくお願いします。</p> <p>以上をもちまして令和7年度第2回行政改革推進委員会を終了いたします。</p> <p>皆様ご起立ください。</p> <p>一同礼。</p> <p>ありがとうございました。</p>